

図書館だより

2013年
10月号

木々が秋色に染まり始めました。1・2年生ががんばった新人戦も一段落し、榎祭に向けて合唱練習の歌声が響いています。芸術・スポーツ・食欲、そして読書の秋です。

秋は、夏の暑さから解放され、過ごしやすい心地よい季節です。新しい本も貸出を開始しました。秋の夜長に本をお供させてみてはどうでしょう。



10月7日はミステリー記念日！

世界初の推理小説といわれる「モルグ街の殺人」が1941年に発表され、その作者エドガー・アラン・ポーが1949年のこの日に亡くなったことから、この日がミステリー記念日となりました。

おススメのミステリー

「万能鑑定士Qの事件簿」松岡圭祐

キャッチフレーズは「面白くて知恵がつく 人の死なないミステリ」

東京23区を浸食していく不気味な“力士シール”。誰が、何のために貼ったのか？ 謎を追う週刊誌記者・小笠原は、猫のように鋭く魅惑的な瞳を持つ美女と出会う。凜田莉子、23歳。瞬時に万物の真価・真贋・真相を見破る「万能鑑定士」。信じられないほどの天然キャラで劣等生だった莉子は、広範囲な専門知識と観察眼で事件の解決に挑む。

2014年初夏に映画化されます



913/マ/1 (文庫)

おいしいものがいっぱい、食欲の秋!! その前に…

食品添加物って知っていますか？ 味付けや保存性の向上のため、見た目を良くするため、機械で製造するためなど、実に多種多様な添加物が食べ物に含まれています。無害なものもありますが、中には発がん性、臓器や細胞の遺伝子に障害をもたらす可能性のあるものもあります。何気なく食べていたアレに実は危険な添加物が!? と、読んでいて少し怖くなりますが、読んでおいて損はない本を紹介します。

「食べてはいけない添加物 食べてもいい添加物」渡辺雄二



498/ワ(文庫)



あたらしい本



ドラマや映画の原作本が多数借りられます。観る前の予習に、見た後の補完として読んでみては？

そして父になる

是枝裕和(日本文学・文庫)

学歴・仕事・家庭。全てを手に入れ、人生の勝ち組と自負する良多。ある日、病院からの連絡で、6年間育てた息子は病院で取り違えられた他人の子どもだと判明する。血か、共に過ごした時間か。二つの家族に究極の選択が突きつけられる。

現在映画公開中

陽だまりの彼女

越谷オサム(日本文学・文庫)

僕が十年ぶりに再会した幼馴染は、冴えないいいじめられっ子からモテ系のできる女になっていた。しかし、彼女は僕が計り知れない過去を抱えているように見えた。

10月12日映画公開

人類資金 (全3巻)

福井晴敏(日本文学・文庫)

終戦の日、日銀の地下金庫から莫大な金塊が姿を消した。その資産の名は「M資産」。70年の歳月が流れ、詐欺師・真船の前にMと名乗る男が現れ、ある計画を持ちかける。時価総額10兆円の「M資産」を盗み、その報酬は50億円と、恩人の死の真相だった。

10月19日映画公開

清須会議

三谷幸喜(日本文学)

信長亡き後、清須城を舞台に跡目を決める心理戦が始まる。猪突猛進な柴田勝家、用意周到な柴田秀吉。日本史上、初めて会議で歴史が動いた瞬間。だれが最後に笑うのか？

11月9日映画公開

ぼくたちの家族

早見和馬(日本文学・文庫)

家族の気持ちバラバラな若菜家。母の脳に末期症状のガンが見つかり、余命一週間と宣告される。当たり前の家族に隠されていた問題が表面化する中で、家族存在の意義が問われる。

2014年映画公開予定

サンブノイチ

木下半太(日本文学・文庫)

人生の一発逆転を賭けた銀行強盗が成功した3人の男。奪った金は3人で3分の1ずつ山分けのはずが、突如もめ始めた3人。そしてその金を狙う者がいた。悪魔のように凶悪なキャバクラのオーナー、魔女の異名を持つ女金貸し。大金はいったい誰の手に？

2014年映画公開予定

東京バンドワゴンシリーズ (4~7巻)

小路幸也(日本文学)

東京の下町、明治18年から続く老舗古本屋・東京バンドワゴンを営むのは4世代の大家族。個性の強い面々の堀田家は、時におせっかいで面倒な家族。ちょっと変わった家訓に従い、季節ごとに起きる不思議な事件を解決していく堀田家一家の1年。

10月12日日本テレビ系列にて放送開始

よろず占い処 陰陽屋へようこそ

天野頌子(日本文学・文庫)

怪しい占いの店「陰陽屋」。店主は元ホストのイケメン偽陰陽師。アルバイトの瞬太はキツネ耳としっぽを持つ妖狐。妙な組み合わせの二人はお客様の悩み解決のために東へ西へと駆ける。

10月8日フジテレビ系列にて放送開始

ここで紹介した本とほかの新着図書は図書室カウンター前の棚にあります。